



日本共産党 今野英子 22
待機児童をゼロに

問待機児童数は、4月現在67人、潜在待機児童数は185人。市は平成29年度末、待機児童ゼロを掲げているが、待機児童をなくせるのか伺う。

答こども未来部長 川越 市子ども子育て支援事業計画により、保育の確保の方策に努めており、平成29年度末の待機児童ゼロに向け、民間保育所等の整備を行っていく。新たな



日本共産党 長田雅基 23
子どもの貧困を断つ施策を

問貧困の連鎖を断ち切る施策として、生まれた環境に左右されず学びの機会をつくる、給付型の奨学金制度の創設について、市長の考えは。

答市長 給付型奨学金制度創設の最も大きな課題は、財源の手当てや財源の継続的な確保、その他、校種や対象者の範囲、所得基準の有無、選考基準の設定など、希望する全



日本共産党 池浜あけみ 24
家族経営を支援する施策を

問川越のまちづくりの視点から、大手の資本による空き店舗の再生ではなく、現在家族経営している店舗への支援が必要だと思いが、市長の考えは。

答市長 事業主の高齢化や後継者不足などにより、廃業となった空き店舗に、企業が経営する店舗が出店するケースが増加してきているが、地域の住民が家族経営している店舗



日本共産党 柿田有一 25
市長の不公平な市政運営

問参議院選などでは特定政党への支持を明確にしているが、公務における公平性に疑いを生じさせることをどう考えるか。

答市長 市の行政を行う上においては、政党に関わらず、広く意見を聞きながら市政運営に努めており、公平性に疑義を生じさせるとは認識していない。



問年をとっても安心して市長の政治姿勢



やまびき会 矢部 節 26
準用河川久保川対策

問外環状3・4・6号線、西武鉄道高架橋用地を、南台1、2、3丁目、太田街道沿いや関越道下流の雨水対策に利用できないか。

答上下水道局長 川越狭山工業団地内の浸水防除、入間川へ至る川越狭山工業団地1号雨水幹線及び久保川への負荷軽減を考えると、雨水貯留施設の設置は有効な手法と考える



議会情報

産業建設常任委員会

9月23日に荻窪利充副委員長が辞職したため、新たに吉田光雄委員が副委員長に選出されました。

川越駅周辺対策特別委員会

9月30日、奥貫真紀議員の辞職に伴い、新たに桐野忠議員が委員に選出されました。

議員辞職

9月29日付けで奥貫真紀議員より議長あてに議員の辞職願が提出され、9月30日、本会議において許可されました。

図書室委員会

9月30日、奥貫真紀議員の辞職に伴い、新たに近藤芳宏議員が委員に選出されました。